

A. はじめに：

1. 説教者：チャック・リンド
2. FBC では、この夏、「神の問い」という新しいシリーズを始めます。
3. 新シリーズのネタバレは避けますが、マイク牧師とメールでやり取りしていたところ、私が選んだトピックが、来週からの新シリーズで既に取り上げられる予定のものだったと知り、驚きました。
4. 今日は、イエスが使徒たちに尋ねた質問、「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか？」についてお話しします。

B. （マタイによる福音書 16 章） イエスと使徒たちとのこの会話の背景は、あなたを驚かせるかもしれません。

1. イエスの宣教活動は、ほとんどの場合、次の 2 つの場所のいずれかで行われていました：
 - a. ガリラヤ湖の近くや周辺の地域、あるいは
 - b. ユダヤ地方、主にエルサレム市内またはその近郊。
 - c. 福音書では、イエスは他にも 3 つの場所に現れていますが、そのうち 2 つはユダヤ教の伝統がほとんどない、宗教的礼拝の中心地でした：
 - i. （ヨハネ 4 章） エルサレムの北にあるサマリア。イエスは井戸端でサマリア人の女と出会い、イエスを信じるようになったサマリア人たちに宣教を行いました。
 - ii. （マルコ 7 章） シドン（サイダ） 近くの地中海沿岸、フェニキアのツロ（ティルス）。現在ではレバノンにあり、バイルートのすぐ南に位置する。あるシリア・フェニキア人の女性が、イエスがそこにいると聞きつけ、娘が悪霊に憑かれた状態から解放してくれるようイエスに懇願しました。
 - iii. （マタイ 16 章） ヘルモン山のふもとのピリポ・カイサリア。ここはかつてシリアに属していましたが、1973 年以降、現在ではイスラエルの国境内にあり、ゴラン高原と呼ばれる地域にあります。今日の聖書の物語はこの地で起こったことです。

C. ピリポ・カイサリア

- a. ピリポ・カイサリアはギリシャ人やローマ人にとってパーン（ギリシャ神話の神）の崇拝に捧げられた場所であったため、パネイオンと呼ばれていました。パネアスと称されることもあり、現在ではアラビア語でバニアスと呼ばれています。
- b. ここはガリラヤ湖の北、約 30 マイルに位置し、もともとはシリア属州の一部であった地域にあります。この地域は標高が徐々に高くなり、今日のシリア、イスラエル、レバノンの国境が接するヘルモン山を含む山脈の頂上へと続いています。
- c. イエスが生まれる 15 年前、アウグストゥス・カエサルはこの地域をヘロデ大王に与え、ヘロデ大王はそれに応じて、皇帝を崇拝するための神殿をアウグストゥスのために建設しました。
- d. ここはすでに宗教的崇拝の中心地となっていました。最初はカナン人がそこでバアルを崇拝し、その後、ギリシャ人、そしてローマ人が洞窟や神殿、中庭でパーンを崇拝しました。
- e. この地域は、ヘロデ大王の王国を分割した 4 人の息子のうちの 1 人である、ヘロデの息子ピリポの領土内にありました。ピリポはローマ人のためにそこに都市を建設し、地中海沿岸のカイサリア・マリティマと区別するために、それをピリポ・カイサリアと名付けました。

- f. この崇拜の中心地で最も際立った特徴は、山から湧き出る泉の水によって満たされた深い池がある巨大な洞窟であり、この水はヨルダン川の源流となっています。
- g. この大きな洞窟は「パーンの洞窟」と呼ばれ、深い池、パーンの像が置かれた中心の岩、そしてさらに多くの像や捧げ物をおくための窪みが設けられていました。崇拜者たちは、この洞窟の池に捧げ物を入れました。ヨセフスによれば、その池は底が測れないほど深かったといえます。
- h. 実際、その深さは冥界に通じていると言われるほどで、この池は「冥界への門」、あるいは「ハデスの門」として知られるようになりました。

D. (マタイによる福音書 16 章) ここで、イエスは弟子たちに二つの質問を投げかけます。

1. マタイの福音書 16:13-15

さて、ピリポ・カイサリアの地方に行かれたとき、イエスは弟子たちに「人々は人の子をだれだと言っていますか」とお尋ねになった。彼らは言った。「バプテスマのヨハネだと言う人たちも、エリヤだと言う人たちもいます。またほかの人たちはエレミヤだとか、預言者の一人だとか言っています。」イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」

2. 最初の質問：「人々は人の子をだれだと言っていますか」

- a. イエスは、ご自身を「人の子」と呼んでいます。(イエスは、十字架にかけられるわずか数ヶ月前のヨハネによる福音書 9 章 35 節でも、盲人の前で再びこのように言われます)。これは、数週間前にマイク牧師が読んだダニエル書 7 章に基づくものです。
- b. 弟子たちはこう答えます：
 - i. ある者は「バプテスマのヨハネ」だと言います。
 - ii. またある者は「エリヤ」だと言います。
 - iii. さらに別の者は「エレミヤ」や「預言者の一人」だと言います。

3. そこでイエスは、真の問いを投げかけます。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」

- a. ペテロ：「あなたは生ける神の子キリストです。」(16 節)
- b. イエス：「バルナバ・シモン、あなたは幸いです。このことをあなたに明らかにしたのは血肉ではなく、天におられるわたしの父です。そこで、わたしもあなたに言います。あなたはペテロです。わたしはこの岩の上に、わたしの教会を建てます。よみの門もそれに打ち勝つことはできません。」(17～18 節)
- c. わたしはあなたに天の御国の鍵を与えます。あなたが地上でつなぐことは天においてもつなぐられ、あなたが地上で解くことは天においても解かれます。」そのときイエスは弟子たちに、ご自分がキリストであることをだれにも言ってはならない、と命じられた。(19～20 節)

4. イエスが言われた「岩」とは何を指していたのでしょうか。この点については、今日でも神学者たちの間で議論が続いています。

- a. イエスがペテロの名を口にされたとき、その「岩」とはペテロ自身を指していたのでしょうか。
- b. ペテロが告白した内容、すなわち彼に啓示された「啓示の岩」を指していたのでしょうか。
- c. 「小さな岩」(ペトロス Petros) と対比させながら、イエスご自身こそが生ける神の御子であり、メシアであることを指しておられたのでしょうか。
- d. 弟子たちの目の前にそびえ立っていた巨大な岩壁や山そのものを指しておられたのでしょうか。

5. イエスが投げかけた問い「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」に注目したいと思います。その問いは、私たちにも投げかけられています。「私にとって、あなたがたにとって、イエスとはだれなのか？」
- a. イエスが弟子たちと語り合っていた当時と同じように、今日も、この世はイエスに関するさまざまなイメージや意見で溢れています。
 - i. 哲学者
 - ii. 教師
 - iii. 神話上の人物
 - iv. 預言者
 - v. 隣人愛のためだけに生き、やがて殺されてしまった、究極の悲劇的な文学的登場人物
 - vi. それとも、彼はまさにペテロが言った通りの存在だったのでしょうか？ヨハネによる福音書で、ラザロが死からよみがえらされる直前、マルタも次のように語っています（「私は、あなたが世に来られる 神の子 キリスト であると信じています」ヨハネ 11:27）。
6. あなたの人生と未来のすべては、この質問に対するあなたの答えにかかっています。
「あなたは、イエスをだれだと言いますか？」
- a. なぜあなたは、フェイス・バイブル・チャーチに通っているのですか？
 - b. 誰か（たとえばお母さん）を喜ばせるために通っているのですか？
 - c. あなたにとって家族の伝統であり、ただその伝統を守っているだけなのでしょうか？
 - d. 妻を喜ばせて、文句を言われなくするために通っているのですか？
 - e. 親しい人々、音楽、ソウルフードが好きだからですか？
 - f. 心が温かくなり、心地よい気分になれるからですか？
 - g. それとも、「イエスとは本当はだれなのか」という問いに答えた人々とともに、礼拝をささげるためですか？
7. ローマ人への手紙 10:9-10
- 「なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。」

今日、あなたはイエスをだれだと言いますか？